

東アフリカのアグリビジネス輸出回廊：ケニア、ウガンダ、タンザニア、マラウイの世界市場における台頭

分散した生産者から、強力な地域輸出プラットフォームへ

東アフリカでは、新たな農産物輸出の動きが生まれています。

ケニア、ウガンダ、タンザニア、マラウイの4カ国は、単に地理的に近接しているだけではありません。より商業的に重要な要素である、**農業生産、地域貿易、物流回廊、加工能力、そして世界市場へのアクセス**を通じて、相互の結びつきを強めています。

この4カ国は、インド洋沿岸から五大湖地域を経て、アフリカ南部・東部に広がる強力な農業生産地帯を形成しています。

この地域ではすでに、世界市場で取引されるコーヒー、茶、タバコ、カシューナッツ、園芸作物、穀物、豆類、油糧種子、砂糖、綿花、カカオなど、多様な農産物が生産されています。

変化しているのは、その規模です。

機会は、各国が個別に農産物を輸出する段階から、生産物を集約し、加工し、農家と海外の買い手を結びつけ、モンバサ港とダルエスサラーム港を通じて大量の貨物を輸送できる、**地域統合型のアグリビジネス・輸出エコシステム**へと広がりつつあります。

その兆候は、すでに明確に表れています。

1. ウガンダ：コーヒー輸出の飛躍的な成長

東アフリカの輸出ポテンシャルを示す最近の事例として、おそらく最も明確なのがウガンダのコーヒー産業です。

ウガンダはコーヒーを同国最大の農産物輸出品へと成長させ、近年、過去最高水準の輸出実績を達成しています。

ウガンダ農業省によると、2025年8月までの12カ月間に、ウガンダはコーヒーを**60kg入り袋換算で793万袋輸出し、その輸出額は約22億4,000万米ドルに達しました。**

これは、前年と比較して**輸出額が58.7%増加したことを意味します。**

さらに注目すべきことに、ウガンダは一時、アフリカ最大のコーヒー輸出国となりました。2025 年 5 月の月間輸出量は約 **47,607** トンに達し、年間輸出収入は 20 億米ドルを超えました。

ウガンダ産コーヒーは、欧州、アジア、アフリカなど、世界各地の市場に供給されています。

なかでも、日本市場には大きな可能性があります。ウガンダ農業省によると、日本によるウガンダ産生豆の輸入額は、2021 年の約 430 万米ドルから 2023 年には約 1,200 万米ドルへ増加しました。同期間に、輸入量も 142 万 kg から 383 万 kg へ拡大しました。

これは単なる農産物の成功事例ではありません。

東アフリカの一国が、単なる原料生産国から、世界的に認知される産地であり、信頼できる供給パートナーへと発展できることを示しています。

ウガンダの経験は、以下の要素を組み合わせることの重要性も示しています。

- 農家の生産物の集約
- 品質の向上
- 輸出認証の取得
- トレーサビリティの確保
- 国際マーケティング
- 信頼性の高い物流
- 民間企業の参画
- 国際的な買い手へのアクセス

この教訓は、同じ輸出回廊に位置する他の国々にとっても、極めて重要です。

2. ケニア：茶と花卉から多角的な輸出プラットフォームへ

ケニアは、すでにアフリカを代表する農産物輸出国の一つとして、国際的に高い知名度を確立しています。

同国の茶、コーヒー、花卉、野菜、果物は、国際市場における主要供給品としての地位を築いてきました。

ケニアの茶産業は、その代表的な成功事例の一つです。

国連アフリカ経済委員会（UNECA）によると、ケニアの茶輸出額は 2024 年に過去最高となる約 **17 億米ドル**に達し、2023 年の約 14 億米ドルから増加しました。

ケニアの輸出エコシステムは、茶だけにとどまりません。

ケニア中央銀行の公式データでも、コーヒー、茶、園芸作物の相当規模の輸出が確認されています。2025～2026 年には、園芸分野が毎月数十億ケニア・シリング規模の収益を生み出しています。

また、ナイロビ、モンバサ、航空貨物輸送網を中心に、高度な輸出インフラも整備されています。

このため、ケニアは地域戦略において特に重要な存在です。

ケニアは単なる農産物の生産国ではありません。

今後、次の機能を統合する拠点として、ますます重要になる可能性があります。

生産＋加工＋金融＋物流＋国際マーケティング＋輸出ゲートウェイ

モンバサ港は、東アフリカ全域の農業経済をインド洋および世界の海運市場につなぐ重要な玄関口です。

3. タンザニア：急速に拡大する農産物輸出大国

タンザニアは、地域全体の構造において、他国とは異なる重要な強みをもたらします。それは、**生産規模と多様性**です。

同国の農産物輸出品には、カシューナッツ、タバコ、コーヒー、茶、綿花、園芸作物、穀物、豆類、油糧種子などが含まれます。

タンザニア農業省の報告によると、2023／24 年度の実績は以下のとおりです。

- ・ トウモロコシとコメの輸出額：約 **3 億 4,650 万米ドル**
- ・ ヒヨコ豆、キマメ、緑豆、大豆、黒目豆など：合計約 **519,765 トン**、輸出額約 **5 億 680 万米ドル**
- ・ アボカドの輸出量：約 **35,627 トン**、輸出額約 **1 億 90 万米ドル**
- ・ 伝統的な輸出用作物の輸出額：約 **8 億 7,280 万米ドル**

主要農産物のいくつかでは、特に力強い成長が見られました。カシューナッツの輸出額は約 **3 億 7,240 万米ドル**、タバコの輸出額は約 **3 億 4,410 万米ドル**に達しました。

したがって、タンザニアは次の要素を兼ね備えた、注目すべき農産物輸出国へと発展しています。

大規模供給＋商品多様性＋輸出拡大＋インド洋へのアクセス

その重要性は、タンザニア国内だけにとどまりません。

中央回廊（Central Corridor）は、ダルエスサラームと内陸市場、さらに内陸国の経済圏を結びつけています。

これにより、タンザニアは、より広い地域で生産される農産物を世界市場へ送り出す主要な輸出ゲートウェイとなる可能性があります。

4. タンザニアはすでに地域市場の食料供給を担っている

重要な進展の一つは、地域内の農産物貿易が、すでに相当な規模で行われていることです。

世界銀行の貿易データによると、タンザニアは 2024 年に精米を約 **385,571 トン** 輸出し、輸出額は約 **1 億 9,630 万米ドル** に達しました。

そのうち、ウガンダ向けは約 **284,381 トン**、約 **1 億 810 万米ドル** でした。

ケニア向けにも、約 **44,426 トン**、約 **5,620 万米ドル** が輸出されました。

これは、この地域の輸出回廊が今後どのように発展し得るかを示す重要な指標です。

地域統合のために、将来のプロジェクトが完成するまで待つ必要はありません。

商業面での地域統合は、すでに進行しています。

タンザニアはウガンダとケニアに農産物を供給しています。

ケニアは地域市場に供給しています。

ウガンダは世界のコーヒー市場に供給しています。

そして、同じ物流インフラを活用することで、国際的な買い手向けに農産物をさらに効率的に集約できるようになります。

5. マラウイ：南部地域の農産物輸出を支える原動力

マラウイは、この地域にもう一つの重要な側面を加えます。

マラウイは東アフリカ共同体（EAC）の加盟国ではありません。しかし、農業生産力と、ダルエスサラームおよびアフリカ南部の輸送ネットワークへの接続性を考慮すると、より広い東アフリカ輸出システムにとって、商業的に極めて重要な国です。

マラウイの輸出経済は、農業への依存度が高い構造となっています。

主な輸出品には、以下が含まれます。

- タバコ
- 茶

- 砂糖
- 豆類
- 油糧種子
- ナッツ類
- その他の農産物

2024 年、マラウイは茎の一部または全部を除去したタバコを約 5 億 5,400 万米ドル輸出し、輸出量は 81,000 トンを超えました。

茶産業も、国際市場において確立された地位を持っています。

マラウイは 2024 年に茶を約 28,252 トン輸出し、輸出額は約 6,940 万米ドルに達しました。

最大の輸出先は英国で、南アフリカ、米国が続きました。

地域統合の観点から特に重要なのは、ケニアも主要な輸出先の一つであり、約 1,555 トン、約 216 万米ドル相当の茶を購入していることです。

これは、マラウイがすでに広域の地域農産物貿易ネットワークと結びついていることを示しています。

6. 本当の成長物語は 4 カ国ではなく、輸出回廊そのものにある

各国の成功事例を一体として捉えると、最も大きな機会が見えてきます。

ケニアの強み：

モンバサ港＋茶＋コーヒー＋園芸＋物流＋金融サービス

ウガンダの強み：

コーヒー＋穀物＋油糧種子＋畜産＋大きな農業生産ポテンシャル

タンザニアの強み：

ダルエスサラーム港＋カシューナッツ＋タバコ＋コメ＋豆類＋トウモロコシ＋コーヒー＋園芸＋広大な農地

マラウイの強み：

タバコ＋茶＋砂糖＋豆類＋油糧種子＋農業生産＋アフリカ南部・東部の貿易ルートへのアクセス

これらを組み合わせることで、どの一国の国内市場よりもはるかに大規模な、地域生産・輸出プラットフォームが形成されます。

7. つのインド洋ゲートウェイが戦略的な柔軟性を生み出す

この地域の重要な優位性の一つは、インド洋に面した 2 つの主要なゲートウェイが存在することです。

モンバサ

モンバサは北部回廊（Northern Corridor）の主要な玄関口です。

この回廊は、モンバサからケニアを通り、ウガンダ、さらにその他の内陸市場へとつながっています。

ダルエスサラーム

ダルエスサラームは中央回廊（Central Corridor）の主要な玄関口です。

この回廊は、タンザニアとウガンダを結び、さらにコンゴ民主共和国、ルワンダ、ブルンジ、ザンビア、マラウイ方面へと延びています。

世界銀行は、北部回廊と中央回廊を、東アフリカの国際貿易を支える主要な輸送ルートとして位置づけています。

これは重要な商業的優位性を生み出します。

農産物の生産者は、必ずしも単一の輸出ルートに依存する必要はありません。

地域の輸出企業は、次のような物流経路を比較・検討できるようになります。

農場 → 集荷センター → 加工施設 → モンバサ港

または

農場 → 集荷センター → 加工施設 → ダルエスサラーム港

大規模な輸出事業者にとって、この柔軟性は戦略上、ますます重要になります。

8. 地域貿易はすでに加速している

東アフリカのより広い市場も成長を続けています。

東アフリカ共同体（EAC）によると、EAC と域外諸国との貿易総額は 2024 年に約 **1,249 億米ドル**に達し、EAC の輸出額は約 **560 億米ドル**に増加しました。

EAC 域内貿易も約 **152 億米ドル**に拡大しました。

さらに新しい EAC の統計では、成長が継続していることが示されています。

2025 年の EAC 域内貿易は約 **193 億米ドル**に達し、EAC の最新統計によると 28%増加しました。

これは、地域貿易が、より大規模な国際輸出を実現するための産業基盤を形成できることを意味します。

各国がすべての農産物を欧州、中国、インド、中東へ直接輸出する必要はありません。

まず、地域内のバリューチェーンを構築することも可能です。

例えば、次のような経路が考えられます。

タンザニア → ウガンダ → 加工 → 国際市場

マラウイ → タンザニア → ダルエスサラーム港 → アジア・中東

ウガンダ → ケニア → モンバサ港 → 国際市場

9. 次の段階：農産物の輸出から高付加価値製品の輸出へ

最大の機会は、生の農産物をさらに多く輸出することではないかもしれません。

むしろ、輸出前に加工することにある可能性があります。

この地域には、すでに膨大な量の農産原料があります。

次世代の企業は、これらを次のような製品に転換できます。

- 焙煎コーヒーおよびインスタントコーヒー
- スペシャルティコーヒー
- 精製植物油
- 大豆ミール
- 飼料
- デンプン
- キャッサバ粉
- タンパク質原料
- 選別・精製された豆類および穀物
- 果汁濃縮物
- ドライフルーツ
- カカオ原料
- カシューナッツの仁
- カシューナッツ殻由来の製品
- ブレンド茶

- 精油
- 天然由来原料
- ニュートラシューティカル原料
- 包装食品

ここにこそ、この輸出回廊が生み出す経済価値を飛躍的に高める可能性があります。

目標は、単にトン数を増やすことではありません。

1トン当たりの付加価値を高めた農産物を輸出することです。

10. 地域規模での農産物集約の拡大

構造的に大きな機会の一つが、農産物の集約です。

国際的な産業用バイヤーは、次の要件をますます重視しています。

- 一貫した製品仕様
- 予測可能な月間供給量
- トレーサビリティ
- 品質管理
- 食品安全
- 適切な書類
- 信頼性の高い物流
- 輸出規制への適合
- 長期契約

小規模農家が単独で、これらすべてを満たすことは通常困難です。

しかし、地域輸出プラットフォームであれば実現できる可能性があります。

例えば、ある国際的な買い手が、特定の農産物について次の供給を必要としているとします。

月間 15,000 トン

この場合、その量を単独で生産できる農場や企業を探すのではなく、地域全体で生産物を集約することができます。

- ケニア
- ウガンダ
- タンザニア
- マラウイ

各国の生産物を、標準化された仕様、品質管理システム、倉庫、加工施設を通じて集約するのです。

その結果、次のような新しいモデルが生まれます。

数千の生産者 → 地域集約 → 標準化された加工 → 国際的な買い手

11. デジタル農業が不足している重要な基盤となる

次の変革をもたらすのは、デジタル技術かもしれません。

この地域の農産物輸出企業は、次の情報を把握する必要性をますます強く感じています。

作物はどこで生産されたのか？

誰が生産したのか？

いつ収穫されたのか？

どのような農業資材が使用されたのか？

品質はどうだったのか？

どこで加工されたのか？

どの倉庫で取り扱われたのか？

どのトラックで輸送されたのか？

どのコンテナに積載されたのか？

どの買い手が受け取ったのか？

国際市場では、トレーサビリティと持続可能性に関する文書・証拠の要求が強まっているため、これらの情報は特に重要です。

農家登録、GPS マッピング、集荷、品質管理、倉庫管理、輸出書類、買い手管理、規制遵守を統合するデジタルプラットフォームは、地域輸出経済にとって不可欠なインフラとなる可能性があります。

EAC 自身も、地域貿易と統合を強化するための優先事項として、デジタル化と複合輸送インフラを挙げています。

12. 生産国から世界市場の主要供給地域へ

各国の実績は、より大きな変革を示しています。

ウガンダは、アフリカの農産物が **20 億米ドルを超える輸出産業**へと成長できることを証明しています。

ケニアは、農業を高度な物流、園芸産業、国際市場向けインフラと組み合わせる方法を示しています。

タンザニアは、**大規模かつ多角化された農産物輸出の可能性**を示しています。

マラウイは、内陸国の農業経済であっても、タバコ、茶、砂糖などを中心に、重要な国際輸出産業を構築できることを示しています。

この4カ国は、さらに大きな可能性を示しています。

東アフリカは、世界の農産物市場に対して、商業的に競争力のある規模で供給できる地域へと発展しつつあります。

13. 国際的な買い手にとってのビジネス機会

国際的な買い手は、この地域を4つの独立した国としてではなく、**複数産地を活用できる調達プラットフォーム**として捉えるべきです。

農産物を調達する買い手は、例えば次のような調達拠点を構築できます。

産地1－ケニア

高品質な園芸作物、茶、コーヒー、専門性の高い農産物。

産地2－ウガンダ

ロブスタ種・アラビカ種コーヒー、穀物、油糧種子、その他の農産物。

産地3－タンザニア

コメ、豆類、トウモロコシ、カシューナッツ、タバコ、コーヒー、綿花、園芸作物、その他の農産物。

産地4－マラウイ

タバコ、茶、砂糖、豆類、油糧種子。

最大の利点は、調達先の多様化です。

ある産地の生産が影響を受けた場合、別の産地からの調達で補える可能性があります。

ある港が混雑した場合には、別の輸送ルートを検討できます。

特定の国がある作物の生産に優位性を持つ場合には、その産地を優先することも可能です。

これこそが、ポートフォリオ型の農産物調達の始まりです。

14. 農場から月間 15,000～50,000 トンの輸出プログラムへ

東アフリカの農業開発の次の段階では、より大規模な供給プログラムが重要になります。

国際的な買い手が尋ねる質問も変わっていくでしょう。

従来の質問：

「この農家や農業協同組合は、何トン輸出できますか？」

これから重視される質問：

「あなたの地域供給ネットワークは、毎月 15,000 トンを安定的に供給できますか？」

これはビジネスモデルそのものを変えます。

成功する企業には、次の仕組みが必要です。

農家ネットワーク＋集荷センター＋倉庫＋加工＋品質管理＋デジタルトレーサビリティ＋物流＋金融＋国際営業

これこそが、農業生産を産業規模の輸出プログラムへと転換するために必要な事業基盤です。

15. 東アフリカの競争優位性：多様性

この輸出回廊の最大の強みは、その多様性にあるのかもしれませんが。

気候や農業地帯が異なるため、この地域ではさまざまな農産物を生産できます。

これにより、年間を通じた調達と、調達品目の多様化が可能になります。

この地域は、次の世界市場に参入できます。

コーヒー

ウガンダ、ケニア、タンザニア

茶

ケニア、タンザニア、マラウイ

カシューナッツ

タンザニア

タバコ

マラウイ、タンザニア

コメ

タンザニア

豆類

タンザニア、ウガンダ、マラウイ

油糧種子

ウガンダ、タンザニア、マラウイ

園芸作物

ケニア、タンザニア、ウガンダ

トウモロコシ・穀物

タンザニア、ウガンダ、ケニア、マラウイ

砂糖

マラウイ、タンザニア、ウガンダ、ケニア

したがって、機会は単一の農産物に限定されません。

それは、複数の農産物を扱う輸出エコシステムです。

16. 世界市場が東アフリカに注目し始めている

国際貿易統計には、すでにその兆候が表れています。

ウガンダは、コーヒー輸出で歴史的な実績を記録しています。

ケニアは、茶の輸出収入で過去最高水準に達しました。

タンザニアは、カシューナッツ、タバコ、豆類、穀物、園芸作物の輸出を拡大しています。

マラウイは、主要な国際市場にタバコと茶を供給し続けています。

その一方で、地域貿易は拡大し、輸送回廊の整備も進んでいます。

UNECA は 2025 年、世界貿易の混乱にもかかわらず東アフリカの輸出が底堅さを示し、ケニアやウガンダなどでは米国向け輸出が大幅に増加したと報告しました。また、将来の貿易成長を支える重要な要因として、インフラ投資と地域統合を挙げています。

これは、もはや単なる農業の潜在力についての話ではないことを示しています。

輸出の成長は、すでに現実のものとなっています。

17. 次世代の東アフリカ輸出チャンピオン企業

次世代の東アフリカのアグリビジネス企業は、従来の農産物商社とは大きく異なる姿になる可能性があります。

事業展開は一国単位ではなく、地域全体へと広がります。

そして、次の分野を統合します。

- 農業
- 加工
- テクノロジー
- 物流
- 金融
- 規制遵守
- 国際営業

複数の国にまたがる供給ネットワークを構築します。

デジタルトレーサビリティを活用し、原産地と各種規制への適合を証明します。

生産地に近い場所で農産物を加工します。

国際的な買い手と複数年契約を締結します。

そして、単なる農産物ではなく、**安定供給を保証する供給プログラム**を販売するようになります。

結論：新たなアフリカ輸出回廊の形成

東アフリカをめぐる状況は変化しています。

ケニア、ウガンダ、タンザニア、マラウイは、それぞれ異なる農業上の強み、輸出の歴史、物流システムを持っています。

しかし、これらの能力を組み合わせることで、各国単独では実現できない、より大きな可能性が生まれます。

それは、インド洋と、世界で急速に成長する食料・農産物市場を結ぶ、**地域統合型の農業生産・輸出プラットフォーム**です。

すでに成功事例は存在しています。

ウガンダのコーヒー輸出額は 20 億米ドルを超えました。

ケニアの茶輸出額は過去最高水準に達しました。

タンザニアは、カシューナッツ、タバコ、穀物、豆類、園芸作物を数億米ドル規模で輸出しています。

マラウイは、数億米ドル規模のタバコと、数千万米ドル規模の茶を輸出しています。

そして、地域貿易は拡大しています。

次の課題は、これらの成功を相互につなぐことです。

目指すべきは、次のような統合システムの構築です。

農家が生産する → 協同組合が集約する → 加工企業が付加価値を生み出す → デジタルシステムがトレーサビリティを確保する → 物流回廊が貨物を輸送する → モン巴萨港とダルエスサラーム港が地域を世界の海運網につなぐ → 国際的な買い手が長期的な供給を確保する。

これこそが、東アフリカ・アグリビジネス & 輸出回廊（East Africa Agribusiness & Export Corridor）の真の可能性です。

これは、まだ正式な経済ブロックではありません。

しかし、商業的には、それ以上に重要な存在へと発展する可能性があります。

それは、国境を越えた生産・加工・輸出のエコシステムであり、世界市場に対して、ますます大規模な産業レベルで農産物を供給できる潜在力を持っています。

この地域が、原料農産物の輸出から、加工済みで、トレーサビリティが確保され、規制に適合し、契約に基づいて供給される農産物の輸出へと移行できれば、東アフリカは、食品、食品原料、農産物の調達先として、世界でますます重要な地域の一つになる可能性があります。

最初の章は、すでに書き始められています。

次の章のテーマは、地域規模への拡大です。

執筆：Kosona Chriv

最高執行責任者（COO）

Deko Integrated and Agro Processing Limited

ナイジェリア、エド州、ベニンシティ 300002

Mission Road 52 番地、Idubor House 3 階・4 階

電話／WhatsApp：

+234 904 084 8867（ナイジェリア）

+855 10 333 220（カンボジア）

メール：pr@dekoholding.com

ウェブサイト：<https://dekoholding.com/ja>

WhatsApp チャンネル

<https://whatsapp.com/channel/0029Va9I6d0Dp2Q2rJZ8Kk0x>

LinkedIn

<https://www.linkedin.com/in/kosona>

TikTok

<https://www.tiktok.com/@kosonachriv>

LinkedIn グループ：「Five Pillars AgriAI」

<https://www.linkedin.com/groups/37080204/>

WhatsApp チャンネル

<https://whatsapp.com/channel/0029Va9I6d0Dp2Q2rJZ8Kk0x>

YouTube

<https://www.youtube.com/@FivePillarsAgriAI>

Deko Integrated and Agro Processing Limited は、ナイジェリアで農産物の取引・輸出を行う農業関連企業です。当社は、ナイジェリアおよび西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）加盟国の農業・食品分野を、革新的な技術とイノベーションを通じて変革することを目指すグローバル企業ネットワーク、Deko Group の一員です。

私たちは、お客様、パートナー、ステークホルダーに価値を創出するとともに、地域社会と環境に積極的な貢献を果たすことを重視しています。高品質な農作物の生産から、それらを付加価値製品へと加工するまで、あらゆる事業活動において卓越性を追求しています。

Deko Group について詳しく知りたい方、または協業の可能性についてご相談されたい方は、<https://dekoholding.com/ja> をご覧ください。

皆様からのご連絡をお待ちしており、協力の可能性について話し合えることを楽しみにしております。